

第8次熊本・上益城地域保健医療計画における  
熊本地域の令和7年度進捗について  
【共通項目・地域項目】

熊本市

# 第8次熊本県保健医療計画/第8次熊本・上益城地域保健医療計画（共通項目）成果等一覧表

【令和7年度】

〈共通項目〉			
項目	取組の方向性	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 項目に関する取組内容	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 成果及び課題、次年度以降の取組（案）
4 医療機能の適切な分化と連携（地域計画P21～22）	<p>◎限られた医療資源を有効に活用し、市民に安定的かつ持続的な医療を提供できる体制の確保に向けて、関係機関等との連携のもと医療機能の分化・連携に取り組むとともに、地域包括ケアシステムを推進する。</p> <p><b>（1）医療機能の分化・連携の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機能の明確化と連携強化</li> <li>・かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の役割の周知</li> </ul> <p><b>（2）地域包括ケアシステムの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア体制の構築</li> <li>・関係機関の連携と情報共有の促進</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）医療機能の分化・連携の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県や関係機関と会議で情報共有・協議を行い、市ホームページで適正受診やかかりつけ医・薬局の役割について広報した。</li> </ul> <p><b>（2）地域包括ケアシステムの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・介護の課題を協議し、医師会・薬剤師会等と連携して体制づくりを進めるとともに、メディカルネットワークの活用を周知した。</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）医療機能の分化・連携の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との会議で医療機能の分化や連携の推進について継続協議を行うとともに、市民に対しても医療機能の分化（各医療機関の役割や機能）についてわかりやすい情報発信を丁寧に行う。</li> </ul> <p><b>（2）地域包括ケアシステムの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会や薬剤師会等の関係機関と会議等で情報共有し、連携して取り組むなど、地域包括ケアシステムの推進体制の確保を行った。</li> </ul>
		<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）医療機能の分化・連携の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県や関係機関と協力し会議で協議を進めるとともに、市政だよりやホームページで市民へわかりやすく情報発信する。</li> </ul> <p><b>（2）地域包括ケアシステムの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係会議で協議を行い、課題解決に取り組むとともに、市民に対して出前講座や市政だより、ホームページなどの媒体を通して啓発を行う。</li> </ul>	<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）医療機能の分化・連携の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との会議で医療機能の分化や連携の推進について継続協議を行うとともに、市民に対してもわかりやすい情報発信を実施する。</li> </ul> <p><b>（2）地域包括ケアシステムの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療や介護の関係機関との協議や地域包括ケアシステムの啓発を継続して行う。</li> </ul>
<p><b>【R8年度取組案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携しながら、各項目の取組を継続する。</li> </ul>			
5 外来医療に係る医療提供体制の確保（地域計画P23～24）	<p>◎医療機関における外来機能の分化・連携を推進するとともに、初期救急や在宅医療等の体制を担う地域に必要な外来機能の維持・確保を図る。</p> <p><b>（1）外来機能の分化・連携の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来機能の協議と役割分担の推進</li> <li>・外来機能を支える共同利用体制の整備</li> <li>・市民への適正受診の啓発</li> </ul> <p><b>（2）初期救急等を含む外来機能の維持・確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規開業医への外来機能の確認</li> <li>・関係機関の連携と情報共有の促進</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）外来機能の分化・連携の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療構想調整会議や医師会と協議を行い、市政だよりやLINE、フリーペーパーなどで適正受診と医療電話相談の活用を周知した。</li> </ul> <p><b>（2）初期救急等を含む外来機能の維持・確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期救急や在宅医療のデータを収集し、関係会議で情報共有を行い、連携体制づくりを進めた。また、新規開業医に対し、初期救急や学校医の役割を担う意向を確認した。</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）外来機能の分化・連携の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会や薬剤師会等の関係機関と連携しながら、市民へ適正受診や医療電話相談等の啓発を行った。</li> </ul> <p><b>（2）初期救急等を含む外来機能の維持・確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係会議等で本市の現状を共有し、連携体制の確保ができた。</li> </ul>
		<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）外来機能の分化・連携の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療構想調整会議や関係団体と協議して外来機能の分化・連携を進め、市民へ症状に応じた適正受診を周知した。</li> </ul> <p><b>（2）初期救急等を含む外来機能の維持・確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期救急や在宅医療のデータ収集、関係会議での情報共有を行い、連携体制づくりを進める。また、新規開業医に対し、初期救急や学校医など地域に必要な役割を担う意向を確認する。</li> </ul>	<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）外来機能の分化・連携の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会や薬剤師会等の関係機関と連携しながら、市民へ適正受診や医療電話相談等の啓発を行った。</li> </ul> <p><b>（2）初期救急等を含む外来機能の維持・確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係会議等で本市の現状を共有し、連携体制の確保を行うとともに、新規開業医への意向確認を継続する。</li> </ul>
<p><b>【R8年度取組案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携しながら、各項目の取組を継続する。</li> </ul>			

# 第8次熊本県保健医療計画/第8次熊本・上益城地域保健医療計画（共通項目）成果等一覧表

【令和7年度】

〈共通項目〉			
項目	取組の方向性	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 項目に関する取組内容	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 成果及び課題、次年度以降の取組（案）
9 在宅医療（地域計画P35～38）	<p>◎地域包括ケアシステムや重層的支援体制構築を推進し、在宅生活を希望する住民が住み慣れた地域で安心して必要な医療や介護を受けることができるよう、多職種や関係機関と連携による在宅医療・介護等が適切に提供される体制の整備を図る。</p> <p><b>（1）在宅医療・介護の提供体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護を支える連携体制の強化</li> <li>切れ目ない医療・介護の提供に向けた支援</li> <li>4つの場面（日常の療養支援、入退院支援、急変時の対応、看取り）を支える体制整備</li> <li>災害・感染症など有事を見据えた体制強化</li> </ul> <p><b>（2）地域の在宅医療・介護を担う人材の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多職種を対象とした研修や育成の推進</li> <li>在宅医療を担う医師の確保・育成</li> <li>地域での取組を把握・共有し、在宅医療と介護の連携強化</li> </ul> <p><b>（3）市民、医療福祉専門職等への普及啓発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療とACPの理解促進</li> <li>情報提供と相談窓口の周知</li> <li>災害時の対応力向上に向けた支援</li> <li>有事を見据えた情報共有と連携強化</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）在宅医療・介護の提供体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護連携協議会の開催や、地域包括支援センターと医療機関の連携強化に向けた合同研修を実施した。また、歯科医・主治医との連携セミナーを関係団体と共催で開催。</li> </ul> <p><b>（2）地域の在宅医療・介護を担う人材の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域医師会と連携して在宅医療の医師向け研修を実施し人材育成を進めたほか、他機関の在宅医療・介護連携研修について医療介護従事者へ周知した。</li> </ul> <p><b>（3）市民、医療福祉専門職等への普及啓発</b></p> <p>在宅医療の普及に向け講演会や出前講座を行い、フリーペーパー等での広報やメッセージノートの周知、在宅の人工呼吸器使用者の災害時個別避難支援プラン作成にも取り組んだ。市民セミナーを通じて終活や自立支援の啓発も進めた。</p>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）在宅医療・介護の提供体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護等連携協議会を開催し、現状や課題等を共有し体制確保を行った。合同研修は継続実施の要望が多いため、医療介護連携の強化につながる企画を引き続き検討する。</li> </ul> <p><b>（2）地域の在宅医療・介護を担う人材の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域医師会と連携して在宅医療研修等での人材育成に取り組むとともに、他機関の在宅医療・介護連携研修についても医療介護従事者へ周知を行い参加を促した。</li> </ul> <p><b>（3）市民、医療福祉専門職等への普及啓発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療市民講演会や広報媒体を活用した普及啓発を継続し、関係部署と連携して情報発信を行う。高齢者の終活啓発や市民向けセミナーの開催も継続する。R7年度に避難行動要支援者制度を一本化するため、市民への周知を図る必要がある。</li> </ul>
		<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）在宅医療・介護の提供体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護等連携協議会等を通じて地域課題の共有と連携体制の構築を進め、関係団体と協力して研修企画や情報提供を継続する。あわせて、多職種連携や研修開催を通じて在宅医療・介護を担う人材育成に取り組む。</li> </ul> <p><b>（2）地域の在宅医療・介護を担う人材の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係団体と連携し、研修の企画や実施、情報提供を丁寧に進めていく。</li> </ul> <p><b>（3）市民、医療福祉専門職等への普及啓発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R6年度の取組を継続するとともに、高齢者の終活について周知・啓発を継続する。また、自立支援・重度化防止を啓発する市民向けセミナーを開催した。在宅の人工呼吸器使用者に対して避難行動要支援者制度や個別避難支援プラン作成について丁寧に説明した。</li> </ul>	<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）在宅医療・介護の提供体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護等連携協議会を開催し、各団体の実情共有と課題解決に向けた協議を進めた。また、地域包括支援センターと連携し、身寄りのない方の入退院連携に関する研修会を開催し、事例共有を通じて連携強化を図った。</li> </ul> <p><b>（2）地域の在宅医療・介護を担う人材の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係団体と連携して研修の企画・実施や情報提供を継続し、災害時の対応に関する情報共有と体制整備について検討する。</li> </ul> <p><b>（3）市民、医療福祉専門職等への普及啓発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療講演会や広報を通じて在宅医療・人生会議等の啓発を進める。今後も市民セミナーを継続実施する。個別避難支援プラン作成数46名。</li> </ul>
		<p><b>【R8年度取組案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携しながら、各項目の取組を継続する。</li> </ul>	

第8次熊本県保健医療計画/第8次熊本・上益城地域保健医療計画（共通項目）成果等一覧表

【令和7年度】

【共通項目】			
項目	取組の方向性	<令和7年度（令和6年度含む）> 項目に関する取組内容	<令和7年度（令和6年度含む）> 成果及び課題、次年度以降の取組（案）
10 救急医療（地域計画P39～41）	<p>◎救急医療に関する市民の理解を深め、市民が症状の程度や状況に応じて必要な医療サービスを受けられるよう、初期救急医療体制の維持・確保を図るとともに、適切な機能・役割分担に基づく二次救急・三次救急との連携体制を推進する。</p> <p>(1) 初期救急医療体制の維持・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初期救急医療体制の安定的な維持</li> <li>休日・夜間の受診相談体制の充実</li> </ul> <p>(2) 救急医療体制にかかる連携体制等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療の役割分担と連携強化の推進</li> <li>協議会等を活用した関係機関連携の促進</li> </ul> <p>(3) 適切な救急医療の利用等に係る広報・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民への適正受診や救急利用に関する啓発</li> <li>夜間電話相談の活用促進と広報</li> </ul> <p>(4) 救急搬送体制等の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の救急搬送予防に向けた取組</li> <li>応急手当・予防救急の普及啓発</li> </ul>	<p>【R6年度】</p> <p>(1) 初期救急医療体制の維持・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携して休日・夜間の初期救急体制を維持し、救急災害医療協議会で現状と課題を共有した。</li> </ul> <p>(2) 救急医療体制にかかる連携体制等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急災害医療協議会を開催し、救急医療の現状と課題を共有し、連携体制を確保した。</li> </ul> <p>(3) 適切な救急医療の利用等に係る広報・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して適切な救急医療の利用や上手な医療のかかり方等の広報を実施。「こんばんは熊本市」や市政日より等の活用やイベント等でのパンフレット配布などを実施</li> </ul> <p>(4) 救急搬送体制等の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者福祉施設等の従業員向けホームページに、予防救急に関する情報や緊急時対応フロー等を掲載し、施設における円滑な救急搬送体制を図った。また、市ホームページで救急医療やAED等の情報発信を行った。</li> </ul>	<p>【R6年度】</p> <p>(1) 初期救急医療体制の維持・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との連携により初期救急体制を維持したが、年末年始の感染症流行で対応医療機関が逼迫したため、適正受診に加え、関係機関や関係課と連携した啓発が必要。</li> </ul> <p>(2) 救急医療体制にかかる連携体制等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療体制維持のため、今後も関係機関との連携を強化して取り組む。</li> </ul> <p>(3) 適切な救急医療の利用等に係る広報・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「救急医療マロルダーマン」など多様な媒体を活用して適正受診の啓発を行い、関係機関とも連携して周知ができた。今後も市民にわかりやすい啓発を継続する。</li> </ul> <p>(4) 救急搬送体制等の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページや市政日より等を活用した啓発を継続して実施した。</li> </ul>
		<p>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</p> <p>(1) 初期救急医療体制の維持・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との協議を行い、休日・夜間も安心して受診できる初期救急体制を確保する。</li> </ul> <p>(2) 救急医療体制にかかる連携体制等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急災害医療協議会を通じて、地域の状況に応じた連携体制の強化を進める。</li> </ul> <p>(3) 適切な救急医療の利用等に係る広報・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民へ救急医療の適正利用を促すため、各種媒体で広報を継続し、適正受診や#7119の周知などを行う。</li> </ul> <p>(4) 救急搬送体制等の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AEDの情報提供や貸出を継続するとともに、R7年度からDNAR※患者への救急活動について関係課と連携し、高齢者施設等へ周知を進め、円滑な救急搬送体制の構築に取り組む。</li> </ul> <p>※DNARとは、患者本人または患者の利益にかかわる代理者の意思決定をうけて心肺蘇生法を行わないこと</p>	<p>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</p> <p>(1) 初期救急医療体制の維持・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年末年始の救急逼迫を防ぐため、11月から関係部署とも連携しながら広報を強化した。持続可能な初期救急医療体制の維持に向けて引き続き関係機関と協議し、取組を進める。</li> </ul> <p>(2) 救急医療体制にかかる連携体制等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>熊本市救急災害医療協議会を通じて地域の実情に応じた連携体制の構築等に継続して取り組む。</li> </ul> <p>(3) 適切な救急医療の利用等に係る広報・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療の適正利用を促すため「上手な医療のかかり方」を含む広報を継続し、市政日よりやテレビ・ラジオ等で周知を進める。市政日より4回、市LINE4回実施。</li> </ul> <p>(4) 救急搬送体制等の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページや市政日より等を活用した啓発を継続実施した。</li> </ul>
			<p>【R8年度取組案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携しながら、各項目の取組を継続する。</li> </ul>

# 第8次熊本県保健医療計画/第8次熊本・上益城地域保健医療計画（共通項目）成果等一覧表

【令和7年度】

〈共通項目〉			
項目	取組の方向性	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 項目に関する取組内容	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 成果及び課題、次年度以降の取組（案）
1-1 災害医療（地域計画P42～45）	<p>◎災害拠点病院や関係機関、関係団体等との連携を強化するとともに、災害時を想定した体制の整備や市民等への啓発に取り組むなど、大規模災害等にも対応できる災害医療提供体制の整備を図る。</p> <p><b>（1）災害医療提供体制にかかる連携の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の役割分担と連携体制の強化</li> <li>・医療機関の被災状況把握と情報共有の仕組みづくり</li> <li>・大規模災害への備えと関係機関連携</li> </ul> <p><b>（2）災害時を想定した体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指揮・調整機能の強化と連携体制づくり</li> <li>・医療・避難支援の調整に向けた役割確認とマニュアル整備</li> <li>・災害医療体制の訓練と実践的な備え</li> <li>・EMIS運用体制の強化と研修の充実</li> </ul> <p><b>（3）市民等への啓発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の医療体制に関する情報提供と周知の強化</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）災害医療提供体制にかかる連携の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急災害医療協議会や災害医療サポートチーム会議を開催し、関係機関と情報共有や意見交換を行った。</li> </ul> <p><b>（2）災害時を想定した体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・EMIS入力研修や災害医療訓練を実施し、災害時の医療機関の対応力を強化した。</li> </ul> <p><b>（3）市民等への啓発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害時のトリアージの必要性や内容について、市ホームページ等で周知・啓発を行った。</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）災害医療提供体制にかかる連携の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会や災害医療訓練を通じ、災害時の医療体制や各所の役割、連絡方法等を確認し、連携強化を行った。情報伝達の迅速化や支援体制などについて、引き続き協議の必要がある。</li> </ul> <p><b>（2）災害時を想定した体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・EMIS研修会や災害医療訓練で災害時の情報共有と連携の理解が深まり、対応力が向上した。今後はマニュアル改訂や応援体制整備など、継続的な改善が必要。</li> </ul> <p><b>（3）市民等への啓発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トリアージの必要性を市ホームページで周知し理解促進を図ったが、専門性の高さから理解や情報伝達に課題があり、図解の活用や継続的な啓発が必要。</li> </ul>
		<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）災害医療提供体制にかかる連携の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急災害医療協議会（R7.10月）を開催し、関係機関と情報共有・意見交換を行った。また、災害医療サポートチームによる地域災害医療対策会議はR8.3月に開催予定。</li> </ul> <p><b>（2）災害時を想定した体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、EMIS入力研修会や災害医療訓練を実施し、災害時の医療対応力を強化した。</li> </ul> <p><b>（3）市民等への啓発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時のトリアージの必要性や内容について、市ホームページで周知し、市民への理解促進を図った。</li> </ul>	<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）災害医療提供体制にかかる連携の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急災害医療協議会や地域災害医療対策会議を開催し、関係機関との連携強化を図る。来年度は保健所職員や関係機関向けの新たな研修や訓練を検討する。</li> </ul> <p><b>（2）災害時を想定した体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・EMIS研修会と災害医療訓練により、災害時の情報共有や関係機関との連携体制を確保できた。新EMIS移行後の医療機関のID管理や操作習熟に課題あり、継続的な研修と訓練を行う必要がある。保健所の通信体制や研修等による人的体制の強化も検討が必要。</li> </ul> <p><b>（3）市民等への啓発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民への災害時の医療の備えについても情報発信を検討する。</li> </ul>
		<p><b>【R8年度取組案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携しながら、各項目の取組を継続する。</li> </ul>	

# 第8次熊本県保健医療計画/第8次熊本・上益城地域保健医療計画（共通項目）成果等一覧表

【令和7年度】

〈共通項目〉			
項目	取組の方向性	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 項目に関する取組内容	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 成果及び課題、次年度以降の取組（案）
12 新興感染症発生・まん延時における医療（地域計画 P46～48）	<p>◎新型コロナウイルス感染症への対策及び対応の検証を踏まえ、平時から県・地域医療関係者等と連携し、新興感染症等の発生及びまん延時に迅速かつ適切に対応できる地域の医療提供体制の整備を図る。</p> <p><b>(1) 予防計画等関連計画の策定及び平時からの体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策計画の策定と平時からの医療体制整備</li> <li>・専門人材の育成と研究の推進</li> </ul> <p><b>(2) 感染症患者等の入院受入れにかかる病床確保及び外来機能の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院医療の確保に向けた病床調整</li> <li>・要配慮者への入院体制整備</li> <li>・自宅・宿泊療養者の急変対応と施設支援</li> <li>・個人防護具（PPE）の備蓄体制整備</li> </ul> <p><b>(3) 通常医療等へのひっ迫を防ぐための体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院受入れ体制と後方支援の充実</li> <li>・中等症患者の受入れにおける役割分担の明確化</li> <li>・入院・入所調整の効率化と連携強化</li> </ul> <p><b>(4) 関係機関等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対応に向けた広域的な連携と検証の継続</li> <li>・感染拡大時の迅速な情報共有と調整</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>(1) 予防計画等関連計画の策定及び平時からの体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防計画と健康危機対処計画に基づき、健康危機管理課の新設や部署再編、健康危機担当保健師の配置など体制整備を進めた。また、新興感染症対策寄附講座を通じ感染症専門医の育成も進めている。</li> </ul> <p><b>(2) 感染症患者等の入院受入れにかかる病床確保及び外来機能の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症患者の入院病床や発熱外来は、県が医療機関との医療措置協定により順次確保した。また、入転院調整については県や同一圏域の保健所と協議し調整を進めた。</li> </ul> <p><b>(3) 通常医療等へのひっ迫を防ぐための体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休日・夜間の輪番体制について、県が協定医療機関の特色を踏まえた役割分担を検討した。</li> </ul> <p><b>(4) 関係機関等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の協議会や医療検討部会に参加し、医療措置協定の共有や新興感染症時の入転院調整について協議した。</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>(1) 予防計画等関連計画の策定及び平時からの体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IHEAT要員名簿の管理や新規要員の確保、研修の実施を通じて、継続的な人材確保を図る必要がある。</li> </ul> <p><b>(2) 感染症患者等の入院受入れにかかる病床確保及び外来機能の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入転院調整については、県や同一圏域の保健所と継続して協議を進める必要がある。</li> </ul> <p><b>(3) 通常医療等へのひっ迫を防ぐための体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休日・夜間の輪番体制については、入院調整体制の整備を進めながら、県や同一圏域の保健所と引き続き協議を行う。</li> </ul> <p><b>(4) 関係機関等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も定期的に開催される「熊本県感染症対策連携協議会」等において、関係団体との連携を図る。</li> </ul>
		<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>(1) 予防計画等関連計画の策定及び平時からの体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症危機対応名簿を更新し、寄附講座による感染症セミナー開催やIHEAT要員確保に向けた大学連携の検討を進めた。また、政府・県計画の改定を踏まえ、市の行動計画をR7年度に改定予定あり。</li> </ul> <p><b>(2) 感染症患者等の入院受入れにかかる病床確保及び外来機能の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療措置協定により県が病床や発熱外来を確保し、入転院調整は県や同一圏域の保健所と協議して進めた。</li> </ul> <p><b>(3) 通常医療等へのひっ迫を防ぐための体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休日・夜間の輪番体制について、県が締結した医療措置協定を踏まえ、医療機関の特色を生かした役割分担を検討した。</li> </ul> <p><b>(4) 関係機関等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の感染症連携協議会医療検討部会で新興感染症時の入転院調整について協議し、今後の協議会開催（令和8年2月）に向けて調整を進めている。</li> </ul>	<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>(1) 予防計画等関連計画の策定及び平時からの体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種計画に基づき、国・県・医療機関と連携しつつ、医療体制強化や人材育成、BCP・ICT活用など平時からの体制整備を進める。寄附講座による専門医育成やIHEAT要員確保を継続し、令和7年度内に行動計画の改定を行う。</li> </ul> <p><b>(2) 感染症患者等の入院受入れにかかる病床確保及び外来機能の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院調整体制について、県や同一圏域の保健所、協定医療機関など関係機関と協議を重ね、体制整備を進める。</li> </ul> <p><b>(3) 通常医療等へのひっ迫を防ぐための体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休日・夜間の輪番体制は、入院調整体制の整備と併せて、協定医療機関と協議しながら体制を構築する。</li> </ul> <p><b>(4) 関係機関等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県と連携し、協議会や医療検討部会で新興感染症時の医療提供体制整備に取り組む。</li> </ul>
		<p><b>【R8年度取組案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携しながら、各項目の取組を継続する。</li> </ul>	

# 第8次熊本県保健医療計画/第8次熊本・上益城地域保健医療計画 (共通項目) 成果等一覧表

【令和7年度】

〈熊本地域〉			
項目	取組の方向性	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 項目に関する取組内容	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 成果及び課題、次年度以降の取組（案）
1より良い生活習慣の形成、生活習慣の改善（地域計画P8～13）	<p>◎市民が「適切な食生活」や「適度な運動」などのより良い生活習慣を身につけ、生涯を通じて健康的な生活を送るために必要な取組を推進する。</p> <p><b>（1）健康的な食生活の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を通じた食育の推進</li> <li>若い世代への食育講座の実施</li> <li>食生活改善推進員の養成と活動支援</li> <li>健康的な食環境づくり支援</li> </ul> <p><b>（2）身体活動・運動の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動習慣の形成と継続の支援</li> <li>運動に関する社会資源の活用促進</li> <li>女性の骨粗鬆症予防の推進</li> </ul> <p><b>（3）睡眠による休養の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職域保健と連携した休養・健康対策の推進</li> <li>睡眠・休養の重要性に関する普及啓発</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）健康的な食生活の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を通じた食育の推進のため、家庭・学校・職場・地域など多様な場で関係団体と連携した食育講座の開催や食生活改善推進員の養成・支援に取り組んだ。また、学校給食では季節や地域の食文化を生かした献立を提供し、栄養教諭が授業や給食時間を通して食のバランスや食材の理解を促す指導を行い、望ましい食習慣の形成を支援した。</li> </ul> <p><b>（2）身体活動・運動の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングや健診受診など日々の健康づくりをポイント化し、インセンティブにより行動定着を促す「健康ポイント事業」を推進するとともに、女性の健康支援として、骨粗鬆症による骨折予防のため骨折リスクチェック（FRAX）の普及啓発に取り組んだ。</li> </ul> <p><b>（3）睡眠による休養の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>熊本健康アプリを通じて睡眠の重要性に関する情報提供、市民や支援者向けにストレスマネジメントの講話を実施。</li> <li>電話・来所による精神保健福祉相談を行うことで、市民の健康維持に貢献した。</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）健康的な食生活の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食育実践講座：大学生講座10回312人、職域講座7回238人、女性のための講座7回122人、その他の講座139回2,272人の合計163回、2,944人に実施した。</li> <li>食生活改善推進員養成講座修了者数：74名</li> <li>食生活改善推進員数：513名</li> <li>活動支援数：研修83回1,593名、会議83回1,593名、その他の支援2,359回</li> </ul> <p><b>（2）身体活動・運動の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度末時点でアプリのダウンロード数は98,743件に達したものの、アクティブユーザーは伸び悩んでおり、特に20～30代の若年層の利用が少ないことが課題となっている。</li> </ul> <p><b>（3）睡眠による休養の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>熊本工業高校での出前講座をはじめ、市民向け講話20回、支援者向け研修18回を実施し、さらに精神保健福祉相談として電話相談9,008件、来所相談396件、訪問33件を行った。</li> </ul>
		<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）健康的な食生活の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学生や働き盛り世代を対象とした食育講座の実施や、食品関連事業者との連携による健康的な食環境づくりを進めている。</li> <li>学校給食では季節や地域の食文化を取り入れた献立提供や、栄養教諭による食のバランス・食材理解を促す指導を行い、望ましい食習慣の形成を支援している。</li> </ul> <p><b>（2）身体活動・運動の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R7年4月熊本健康アプリが10万ダウンロードの達成を記念し、参加自治体と協力してスタンプラリーなどの記念企画を実施した。</li> </ul> <p><b>（3）睡眠による休養の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民や支援者向けの講話や精神保健福祉相談を実施した。</li> <li>熊本市学校保健合同研修会において講演「『みんなく』のすすめ」を実施した。</li> </ul>	<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）健康的な食生活の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食育実践講座：大学生講座23回936人、職域講座4回99人（R7年12月末現在）</li> <li>もっと健康！野菜アップ事業協力店舗：230店舗</li> <li>スマートミール認証への支援店舗数：2店舗</li> <li>市役所地下食堂食育の日特別メニュー提供、食育の日 副菜レシピの提供</li> <li>学校給食において、地産地消や郷土食、行事食をテーマとした献立を提供した。また、献立提供に合わせて栄養教諭を中心に食に関する指導を実施した。</li> </ul> <p><b>（2）身体活動・運動の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康ポイント事業では企業等の団体と連携し、健康づくり活動の共同実施やインセンティブの更なる充実を図り、アプリダウンロード数及びアクティブユーザー数、若年層の利用者の増加を目指す。</li> </ul> <p><b>（3）睡眠による休養の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民向け講話11回、支援者向け研修17回実施。精神保健福祉相談を実施し、電話相談6,396件、来所相談237件、訪問19件（R7年11月末現在）</li> <li>左記研修会で～睡眠が変われば子どもが変わる～をテーマに講演を実施し、睡眠の重要性を伝えた。</li> </ul>
			<p><b>【R8年度取組案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携しながら、各項目の取組を継続する。</li> </ul>

# 第8次熊本県保健医療計画/第8次熊本・上益城地域保健医療計画（共通項目）成果等一覧表

【令和7年度】

〈熊本地域〉			
項目	取組の方向性	<令和7年度（令和6年度含む）> 項目に関する取組内容	<令和7年度（令和6年度含む）> 成果及び課題、次年度以降の取組（案）
1より良い生活習慣の形成、生活習慣の改善（地域計画P8～13）	<p><b>（4） 歯・口腔の健康づくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を通じた歯科口腔保健の強化</li> <li>妊娠～若い世代・働く世代への歯の健康支援</li> <li>高齢期の口腔機能維持と重症化予防</li> <li>障がい児者への歯科保健医療の確保</li> </ul> <p><b>（5） たばこ対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙・喫煙の害に関する啓発の強化</li> <li>COPD予防と早期発見に向けた情報提供</li> <li>禁煙支援体制の拡充</li> <li>受動喫煙から子どもを守る取組</li> <li>受動喫煙防止対策の推進</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（4） 歯・口腔の健康づくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦歯科健診や節目年齢歯科健診の委託先に県歯科医師会を追加し利便性を高めた。また、子育て応援アプリを活用した歯科保健啓発強化や、こどものむし歯予防としてフッ化物洗口・塗布を推進し、節目年齢歯科健診には20歳・30歳を新たに追加した。さらに、8020健康づくりの会の養成・支援に取り組み、学校保健会と連携して小学校10校の3年生を対象に歯みがき巡回指導を実施した。</li> </ul> <p><b>（5） たばこ対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界禁煙デーにあわせて禁煙啓発を行い、熊本市薬剤師会の協力による禁煙支援薬局での相談受付を実施した。また、新規開業飲食店への受動喫煙防止対策の調査やパンフレット送付を行うとともに、専用コールセンターで受動喫煙に関する相談を受け付けた。さらに、教職員を対象に喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する教育研修会を実施した。</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（4） 歯・口腔の健康づくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦歯科健診受診者数：2,539人</li> <li>節目年齢歯科健診受診者数：3,736人</li> <li>フッ化物塗布事業：3,932人</li> <li>8020推進員養成講座修了者数：100名、8020推進員数：521名、活動支援数：支援回数2,128回、参加者数6,918人、市民参加者数：77,999人</li> <li>小学校10校の3年生を対象に、歯みがき巡回指導を実施し、正しい歯みがき方の定着を図った。</li> </ul> <p><b>（5） たばこ対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界禁煙デーなどの機会を活用して受動喫煙の周知・啓発や禁煙支援に取り組みとともに、R6年度は1,098件の飲食店調査を実施した。また、喫煙の有害性について理解を深め、将来の適切な行動選択につなげることを目的とした教職員研修を行った。</li> </ul>
		<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（4） 歯・口腔の健康づくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊産婦への歯科保健指導や医療機関・子育て応援アプリでの啓発を継続するとともに、子どもへのフッ化物塗布・洗口を継続して推進する。また、8020推進員数が少ない校区があることから8020推進員養成講座の周知を強化する。さらに、小学校10校の3年生を対象に、学校保健会と連携して歯科医師・歯科衛生士による歯みがき巡回指導を実施する。</li> </ul> <p><b>（5） たばこ対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙支援や受動喫煙防止の取組を継続し、COPD（慢性閉塞性肺疾患）に関する啓発を進めた。また、教職員を対象に喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する教育研修会を実施した。</li> </ul>	<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（4） 歯・口腔の健康づくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦歯科健診受診者数：1,725人</li> <li>節目年齢歯科健診受診者数：2,158人</li> <li>フッ化物塗布事業：2,526人</li> <li>8020推進員養成講座修了者数：101名（R7年11月末時点）</li> <li>小学校10校の3年生を対象に、歯みがき巡回指導を実施し、正しい歯みがき方の定着を図った。</li> </ul> <p><b>（5） たばこ対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界禁煙デーなどの機会に受動喫煙の周知・啓発や禁煙支援に取り組みとともに、今後も禁煙支援や受動喫煙防止やCOPDに関する啓発を継続する。喫煙の有害性への理解を深め、将来の適切な行動選択につなげることを目的とした教職員向け研修を実施した。</li> </ul>
		<p><b>【R8年度取組案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携しながら、各項目の取組を継続する。</li> </ul>	

# 第8次熊本県保健医療計画/第8次熊本・上益城地域保健医療計画（共通項目）成果等一覧表

【令和7年度】

〈熊本地域〉			
項目	取組の方向性	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 項目に関する取組内容	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 成果及び課題、次年度以降の取組（案）
1より良い生活習慣の形成、生活習慣の改善（地域計画P8～13）	<p><b>（6）適正飲酒の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康への影響を踏まえた適正飲酒の普及啓発</li> <li>・未成年者の飲酒防止教育の推進</li> <li>・妊娠期・授乳期の飲酒に関する啓発強化</li> </ul> <p><b>（7）健康まちづくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との協働による健康まちづくりの推進</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（6）適正飲酒の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本健康アプリや熊本市公式LINEを活用して適正飲酒に関する情報提供や飲酒チェックツールの啓発を行うとともに、講演会や出前講座、薬物乱用防止教室などを通じた予防啓発に取り組んだ。また、教職員を対象に喫煙・飲酒・薬物乱用防止の教育研修会を実施した。</li> </ul> <p><b>（7）健康まちづくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と協働した「校区単位の健康まちづくり」を各区役所を中心に進めるとともに、令和6年12月には全区の特色ある取組を共有するため、「健康まちづくり事例発表会・市民講演会」を開催した。</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（6）適正飲酒の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LINEによる啓発時期が年度末になったため、今後は11月のアルコール関連問題啓発週間や年末年始など、適切な時期にタイムリーに情報発信を行う必要がある。依存症講演会（こころの健康づくり講演会）を1回18人が参加したほか、教育機関や地域団体等に対する依存症予防の普及啓発講話を8回実施し945人に周知した。また、飲酒の有害性・危険性の理解を深め、将来の適切な行動選択につなげることを目的とした教職員向け研修も行った。</li> </ul> <p><b>（7）健康まちづくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校区組織・関係機関等へ働きかけをした校区数：91校区</li> <li>・校区組織・関係機関等へ働きかけをした回数：732回</li> <li>・健康づくりに取り組んだ校区数：75校区</li> <li>・健康づくりに取り組んだ回数：245回</li> <li>・校区の目指す姿を決定した、または確認した校区数：72校区</li> </ul>
		<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（6）適正飲酒の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依存症講演会を実施し1回44人参加あり。教育機関や地域団体等への依存症予防の講演啓発を6回463人に実施した（1～3月にも6回開催予定）。飲酒状況の自己チェックツールをホームページに掲載、教職員対象の喫煙・飲酒・薬物乱用防止の教育研修会を実施した。</li> </ul> <p><b>（7）健康まちづくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民との協働による「校区単位の健康まちづくり」に、各区役所を中心に、各々の校区の実情に合わせて取り組んでいる。</li> </ul>	<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（6）適正飲酒の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正飲酒に関する情報提供を継続するとともに、講演会や出前講座、薬物乱用防止教室などを通じて予防啓発に取り組んだ。また、飲酒の有害性・危険性への理解を深め、将来の適切な行動選択につなげることを目的とした教職員向け研修を実施した</li> </ul> <p><b>（7）健康まちづくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、地域の特性や強みを活かした具体的な取組を進めていく必要がある。</li> <li>・「校区の目指す姿を決定した、または確認した校区数」の増加を目指す。</li> </ul>
		<p><b>【R8年度取組案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携しながら、各項目の取組を継続する。</li> </ul>	

# 第8次熊本県保健医療計画/第8次熊本・上益城地域保健医療計画（共通項目）成果等一覧表

【令和7年度】

(熊本地域)			
項目	取組の方向性	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 項目に関する取組内容	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 成果及び課題、次年度以降の取組（案）
2 生活習慣病の早期発見・対策（地域計画P14～16）	<p>◎市民が特定健診・特定保健指導、歯科検（健）診等の目的を理解し、健診等を受けることにより、メタボリックシンドロームや生活習慣病等の早期発見や、日常の生活習慣の改善に取り組むことで生活習慣病の発症や重症化の予防を図る。</p> <p><b>(1) 特定健診実施率向上に向けた取組の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な媒体を活用した受診勧奨と予防啓発</li> <li>・関係機関と連携した受診率向上の取組</li> <li>・運動習慣の普及と環境整備</li> </ul> <p><b>(2) 特定保健指導の実施率の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導未利用者への利用勧奨等</li> </ul> <p><b>(3) 歯科検（健）診受診や歯科相談等の利用促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯と口腔の健康づくりの推進</li> </ul> <p><b>(4) 保健医療連携体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診後フォローの徹底</li> <li>・生活習慣病予防に向けた連携体制の強化</li> <li>・みなし健診の活用による受診率向上</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>(1) 特定健診実施率向上に向けた取組の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市医師会への協力依頼や広報媒体を活用して特定健診の受診を促した。年度途中加入者への受診券送付や、電話・SMS・ハガキでの個別案内、未受診者へのインセンティブを実施し、イベント参加、区役所と連携した健診受診の啓発を行った。</li> </ul> <p><b>(2) 特定保健指導の実施率の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話・ハガキ・訪問などで個別に利用勧奨を行うとともに、市政だよりやイベント、啓発資料を活用して特定健診・特定保健指導の周知を進めた。</li> </ul> <p><b>(3) 歯科検（健）診受診や歯科相談等の利用促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節目年齢歯科健診の対象に20歳・30歳を追加し、区役所で生活習慣病予防教室や成人向けの歯科健康教育を実施した。</li> </ul> <p><b>(4) 保健医療連携体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多機関と協力してみなし健診や薬剤関連事業の周知を進め、説明会や重症化予防研修で関係づくりを強化した。また、CKD対策では大学・医師会・保険者などと共同で取り組んだ。</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>(1) 特定健診実施率向上に向けた取組の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなし健診率は17.6%に向上した一方、特定健診率は低下しており、年代別の啓発が必要。92校区で6,919人に啓発を実施した。</li> </ul> <p><b>(2) 特定保健指導の実施率の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導実施率は16.8%となり前年度から向上し、区役所との連携による重症化予防対象者への指導や、健診当日の保健指導依頼が効果につながった。92校区で311回、6,919人への啓発を実施した。</li> </ul> <p><b>(3) 歯科検（健）診受診や歯科相談等の利用促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節目年齢歯科健診受診者数：3,736人</li> </ul> <p><b>(4) 保健医療連携体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなし健診率が向上し、多剤・重複服薬の個別通知で改善を促したほか、医師会・薬剤師会への報告や重症化予防研修で連携を強化した。CKD対策推進会議には59団体87人が参加した。</li> </ul>
		<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>(1) 特定健診実施率向上に向けた取組の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなし健診率向上のための協力依頼や個別勧奨、受診券送付を行い、市の広報媒体の活用、イベント参加、区との連携など多様な場面で健診を周知した。</li> </ul> <p><b>(2) 特定保健指導の実施率の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話やハガキによる個別勧奨、インセンティブの拡大、重症化予防事業での特定保健指導の実施、実施機関への協力依頼などで利用促進を図った。また、イベントや区との連携、啓発資料を通して特定健診・特定保健指導の周知を進めた。</li> </ul> <p><b>(3) 歯科検（健）診受診や歯科相談等の利用促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R6年度の取組を継続するとともに、若い世代に向けた啓発を強化する。</li> </ul> <p><b>(4) 保健医療連携体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなし健診や適正服薬推進で医師会や薬剤師会との連携、重症化予防研修会を開催した。CKD対策では大学や保険者とも協力した。</li> </ul>	<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>(1) 特定健診実施率向上に向けた取組の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診の広報や受診勧奨、インセンティブを継続し、みなし健診も活用して実施率向上に取り組む。また、83校区で212回の啓発を行い、3,942人に周知した（R7年11月末時点）。</li> </ul> <p><b>(2) 特定保健指導の実施率の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話・ハガキでの勧奨やインセンティブを継続し、区と連携して重症化予防対象者への特定保健指導を推進し、83校区212回・3,942人に啓発を実施した。（R7年11月末時点）。</li> </ul> <p><b>(3) 歯科検（健）診受診や歯科相談等の利用促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節目年齢歯科健診受診者数：2,158人（R7年11月末時点）</li> </ul> <p><b>(4) 保健医療連携体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会開催や医師会・薬剤師会と連携し国保保健事業を進めた。また、CKD対策推進会議には、59団体84人が参加した。</li> </ul>
		<p><b>【R8年度取組案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携しながら、各項目の取組を継続する。</li> </ul>	

第8次熊本県保健医療計画/第8次熊本・上益城地域保健医療計画 (共通項目) 成果等一覧表

【令和7年度】

〈熊本地域〉			
項目	取組の方向性	〈令和7年度(令和6年度含む)〉 項目に関する取組内容	〈令和7年度(令和6年度含む)〉 成果及び課題、次年度以降の取組(案)
3 生活機能の維持・向上(高齢者) (地域計画P17~20)	<p>◎生活習慣病の重症化予防や介護予防等を推進し、高齢者が健やかで自立した生活を送るため、健康寿命の延伸に必要な取組を推進する。</p> <p>(1) 高齢者の食を通じた健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フレイル予防と低栄養対策の強化</li> <li>地域の通いの場を活用した食育の充実</li> <li>共食の推進と食育への関心向上</li> </ul> <p>(2) 高齢者の身体活動・運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フレイルの早期発見と地域リハビリ体制の強化</li> <li>運動機会づくりと運動習慣の定着</li> <li>通いの場・オンラインでの予防啓発</li> </ul> <p>(3) 高齢期における歯と口腔の健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>口腔機能向上と歯科健診の啓発</li> <li>医科・歯科による誤嚥性肺炎・生活習慣病予防</li> <li>フレイル・オーラルフレイルの周知</li> </ul> <p>(4) 高齢者の社会参加の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リスクリング※・就労支援と通いの場の充実</li> <li>介護予防資源の見える化とマッチング</li> <li>認知症への理解促進と支援体制づくり</li> <li>地域全体での支え合いの強化</li> </ul> <p>※リスクリングとは 新しいスキルや技術の習得を推進する取組のことで、具体的には新しい職業に就くために、または、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に対応するために必要なスキルを獲得すること</p>	<p>【R6年度】</p> <p>(1) 高齢者の食を通じた健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者へ食育・栄養講話を実施し、栄養フレイル予防に取り組んだ。健診結果から対象者を抽出し、地域包括支援センターと連携して利用勧奨を行った。</li> </ul> <p>(2) 高齢者の身体活動・運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通いの場支援や啓発でフレイル予防に取り組み、健康教室と健診結果を活用して運動プログラムの利用勧奨を行った。</li> </ul> <p>(3) 高齢期における歯と口腔の健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歯科健康教育や8020表彰、口腔機能低下者への短期集中支援を実施し、口腔フレイル予防と対象者への利用勧奨を進めた。</li> </ul> <p>(4) 高齢者の社会参加の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防サポーター養成講座を実施し、地域ニーズとのマッチングを通じてサポーターの自主的活動を支援した。</li> </ul>	<p>【R6年度】</p> <p>(1) 高齢者の食を通じた健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食生活改善推進員が高齢者支援を実施(665回3,369人)し、栄養フレイル該当者へ講話と短期集中予防サービスを案内したが、通知のみの勧奨では利用につながりにくかった。</li> </ul> <p>(2) 高齢者の身体活動・運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>元気づらぶ支援や啓発を実施し、運動フレイル該当者へ短期集中予防サービスを案内したが、通知のみでは利用につながりにくかった。</li> </ul> <p>(3) 高齢期における歯と口腔の健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短期集中予防サービスを実施したが、事業所不足が課題。口腔フレイルの受診率はわずかに向上したものの、通知のみでは利用勧奨につながらなかった。</li> </ul> <p>(4) 高齢者の社会参加の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防サポーターの活動は限定的で、マッチングも20~30件に留まった。受講者の高齢化により若年層の育成が必要。</li> </ul>
		<p>【R7年度】(R7.11.30時点で記載)</p> <p>(1) 高齢者の食を通じた健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域で食育や栄養支援を進め、栄養フレイル高リスク者に講話・個別支援・家庭訪問を行い、短期集中予防サービスの利用勧奨につなげた。</li> </ul> <p>(2) 高齢者の身体活動・運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携してフレイル・転倒予防に取り組む、運動フレイル高リスク者へ講話・個別支援・家庭訪問を行い、短期集中予防サービスの利用勧奨につなげた。</li> </ul> <p>(3) 高齢期における歯と口腔の健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康教育・8020表彰と口腔フレイル啓発を進め、関係機関と連携して短期集中予防サービスを拡充し、健診等から抽出した対象者へ利用勧奨を行った。</li> </ul> <p>(4) 高齢者の社会参加の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防サポーターが地域で継続的に活動できるよう、スキルアップ支援や地域ニーズとのマッチングを行い、サポーター活動の活性化と地域活動の推進を図る。</li> </ul>	<p>【R7年度】(R7.11.30時点で記載)</p> <p>(1) 高齢者の食を通じた健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターと連携し、健診等から栄養改善プログラムへのつながりを支援し、栄養講話を実施する。</li> </ul> <p>(2) 高齢者の身体活動・運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門職派遣で介護予防支援が拡充したが担い手不足が課題。県と連携して体制強化を進め、健診等から運動プログラムにつなげつつ、健康教室でフレイル・転倒予防の講話を行う。</li> </ul> <p>(3) 高齢期における歯と口腔の健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8020表彰を65人に行い、口腔機能低下予防の短期集中予防サービスを進めたが、周知不足で利用が伸び悩んでおり改善が必要。今後も地域包括支援センターと連携し、健診等から対象者をつなぐ支援と口腔フレイル予防の講話を行う。</li> </ul> <p>(4) 高齢者の社会参加の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サポーター養成者は増加したがニーズ調整が難しく活動拡大が進まず、次年度は地域ニーズと担い手の整理を行いスキルアップを継続する。</li> </ul>
			<p>【R8年度取組案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携しながら、各項目の取組を継続する。</li> </ul>

第8次熊本県保健医療計画/第8次熊本・上益城地域保健医療計画（共通項目）成果等一覧表

【令和7年度】

〈熊本地域〉			
項目	取組の方向性	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 項目に関する取組内容	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 成果及び課題、次年度以降の取組（案）
6 がん（地域計画 P25～28）	<p>◎市民にがんに関する正しい知識を普及し、がんの予防・早期発見ができるようにするとともに、がん患者やその家族が、がんと共生する上で安心かつ納得できる選択ができるよう環境の整備を図る。</p> <p><b>（1）がん予防</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣に関するがん予防の推進</li> <li>がんに関する理解促進と検診受診の啓発</li> <li>HPVワクチンの情報提供と接種勧奨</li> <li>肝炎・乳がん・子宮頸がんの予防と早期発見</li> <li>がん検診の受診環境整備と精密検査へのつなぎ</li> </ul> <p><b>（2）がん医療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県・がん診療連携拠点病院等との連携</li> <li>がん患者への相談支援と情報提供</li> <li>がん患者・家族の支援と情報共有</li> </ul> <p><b>（3）がんとの共生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援体制の整備</li> <li>正しい知識の提供と情報発信</li> <li>心のケアと精神的支援</li> <li>アピアランスケアと就労支援</li> <li>ACPの普及啓発</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）がん予防</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>肺・胃・大腸・乳・子宮頸がん検診と胃がんリスク検査を実施し、はがき・市政だより・SNS・企業連携を通じて受診を呼びかけた。</li> </ul> <p><b>（2）がん医療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市ホームページや相談ホットラインでがん医療の情報提供を行い、関係会議で得た緩和ケア等の情報も発信した。</li> </ul> <p><b>（3）がんとの共生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談窓口での支援と各種媒体での情報発信を実施し、がんサロン、市民講演会、アピアランスケア事業等を通じて心理的・経済的負担の軽減に取り組んだ。また、相談窓口の周知や就労支援情報などを関係機関と連携して行った。</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）がん予防</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市実施のがん検診受診率：令和6年度（対前年度増減率）</li> <li>肺がん検診受診率：6.6%（0.5ポイント上昇）</li> <li>胃がん検診受診率：4.7%（0.2ポイント上昇）</li> <li>大腸がん検診受診率：5.4%（0.2ポイント上昇）</li> <li>乳がん検診受診率：12.6%（0.9ポイント上昇）</li> <li>子宮頸がん検診受診率：17.5%（0.9ポイント上昇）</li> </ul> <p><b>（2）がん医療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページやがん相談ホットライン等を活用した情報提供を実施した。</li> </ul> <p><b>（3）がんとの共生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携し丁寧な情報発信を行った。今後は参加しやすいがんサロンの開催方法や若年患者支援制度を検討する。</li> </ul>
		<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）がん予防</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国初の全大腸内視鏡検査無償化を開始し、55～59歳で未受診の1,000名に実施中。79歳までの全対象者へハガキによる受診勧奨もを行い、検診と勧奨を継続する。</li> </ul> <p><b>（2）がん医療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係会議でがん医療等の情報収集を行い、ホームページや相談窓口で情報提供した。</li> </ul> <p><b>（3）がんとの共生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がん相談や市民講演会を継続し、現代美術館と協働で出張がんサロンを実施。R7年度はアピアランスケア拡充や若年がん患者在宅療養支援事業を導入し、関係機関と連携して広報を強化した。</li> </ul>	<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）がん予防</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R7年度のがん検診受診者数・受診率については、R8年6月末に集計予定。</li> </ul> <p><b>（2）がん医療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との連携を図り、広報媒体を活用し、がんに対する正しい情報発信を継続する。</li> </ul> <p><b>（3）がんとの共生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がんサロンは9回開催し延べ87人（新規18人）が参加し、うち1回は出張がんサロンとして実施した。また、心のケアをテーマにがん市民講演会を実施、30人の参加あり。広報は市政だより7回、LINE18回、熊本市医師会報1回など、関係機関と連携して行った。</li> </ul>
		<p><b>【R8年度取組案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携しながら、各項目の取組を継続する。</li> </ul>	

第8次熊本県保健医療計画/第8次熊本・上益城地域保健医療計画（共通項目）成果等一覧表

【令和7年度】

〈熊本地域〉			
項目	取組の方向性	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 項目に関する取組内容	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 成果及び課題、次年度以降の取組（案）
7 糖尿病（地域計画P29～31）	<p>◎保健・医療等の関係機関との連携強化を図り、糖尿病の発症予防（健康増進、早期発見）や重症化予防に取り組むとともに、医療連携や多職種連携等の推進体制の充実を図る。</p> <p><b>（1）生涯を通じた糖尿病予防の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を通じた糖尿病予防の推進</li> <li>市民への情報発信</li> <li>関係機関等との連携による健診受診率の向上</li> <li>働き盛り世代や無関心層へのアプローチ</li> </ul> <p><b>（2）重症化予防</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重症化リスク者の早期発見と医療連携の推進</li> <li>未受診者・治療中断者への受診勧奨</li> <li>糖尿病性腎症の予防と悪化防止</li> </ul> <p><b>（3）推進体制の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療保険者・事業所・地域保健との連携強化</li> <li>健康づくりボランティアの育成と活動支援</li> </ul> <p><b>（4）医療提供体制の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療連携の推進と市民への情報提供</li> <li>糖尿病医療を支える専門人材の育成</li> <li>有事を見据えた医療体制の整備</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）生涯を通じた糖尿病予防の推進</b></p> <p>糖尿病予防や特定健診・保健指導の受診勧奨を進め、CKD対策や世界糖尿病デーの啓発を行った。また、事後フォローやリーフレット配布により、生活習慣改善と早期受診を促進した。</p> <p><b>（2）重症化予防</b></p> <p>CKD病診連携会議で糖尿病性腎症対策を共有し連携を強化するとともに、健診結果に基づく受診勧奨・保健指導や抽出基準の見直し、治療中断者への勧奨を実施した。</p> <p><b>（3）推進体制の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CKD対策を通じて関係団体と連携し、病診・栄養連携システムの活用や啓発を推進した。専門機関へCKDニュースレター等で情報発信を行った。</li> </ul> <p><b>（4）医療提供体制の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CKD名簿への糖尿病連携医の掲載、県会議での課題共有を行い、熊本大学代謝内科等との連携を進めた。</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）生涯を通じた糖尿病予防の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界糖尿病デー啓発パレードには約200人が参加。特定保健指導の実施率は16.8%と前年度より向上した。また、生活習慣改善と特定健診受診を促すチラシを作成・配布したが、周知拡大のため資料のさらなる活用を検討する必要がある。</li> </ul> <p><b>（2）重症化予防</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CKDプロジェクト会議を開催し、健診結果に基づく受診勧奨と保健指導を実施した。受診率は全体56.1%で、高血圧の受診率向上が課題。拡大対象の受診率は53.8%、治療中断者は37.5%受診につながり、HbA1c未治療者割合も改善した。</li> </ul> <p><b>（3）推進体制の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CKD病診連携医276人（211医療機関）</li> <li>熊本市栄養連携システム777件</li> </ul> <p><b>（4）医療提供体制の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>糖尿病性腎症が透析導入の主因であるため、今後も関係機関と連携した対策が必要。</li> </ul>
		<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）生涯を通じた糖尿病予防の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界糖尿病デーでの街頭啓発や健康体重キャンペーン、研修会等を通じて、糖尿病予防と重症化予防を推進した。</li> </ul> <p><b>（2）重症化予防</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会議等で糖尿病性腎症対策を関係機関で共有し、健診結果に基づく受診勧奨・保健指導と治療中断者対応、デジタル機器を活用した重症化予防を実施した。</li> </ul> <p><b>（3）推進体制の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係団体と連携し、病診・栄養連携や啓発活動を継続するとともに、専門機関へニュースレター等で情報発信を実施した。</li> </ul> <p><b>（4）医療提供体制の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CKD名簿への糖尿病連携医の掲載、県会議での課題共有を行い、熊本大学代謝内科等の関係機関と連携した取組を進めた。</li> </ul>	<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）生涯を通じた糖尿病予防の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界糖尿病デー啓発に約360人が参加し、研修会協力や特定保健指導・健診後フォロー、生活習慣啓発を通じて糖尿病予防を推進した。</li> </ul> <p><b>（2）重症化予防</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R7年7月にCKDプロジェクト会議を開催しアルブミン尿検査の紹介基準を検討した。県の重症化予防プログラムと連携し、受診勧奨と保健指導による生活習慣病の重症化予防を進める。</li> </ul> <p><b>（3）推進体制の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R7年度の実績はR8年5月頃に把握予定。</li> </ul> <p><b>（4）医療提供体制の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>糖尿病性腎症が透析導入の主因であるため、引き続き、関係機関と連携した対策を行う。</li> </ul>
		<p><b>【R8年度取組案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携しながら、各項目の取組を継続する。</li> </ul>	

第8次熊本県保健医療計画/第8次熊本・上益城地域保健医療計画（共通項目）成果等一覧表

【令和7年度】

〈熊本地域〉			
項目	取組の方向性	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 項目に関する取組内容	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 成果及び課題、次年度以降の取組（案）
8 精神疾患（地域 計画P32～34）	<p>◎精神疾患の予防や疾病の重症化を防ぐため、早期の相談や医療機関の受診ができ、 住み慣れた地域で安心して生活できるよう精神科医療機関や関係機関との連携のもと、支援の充実を図る。</p> <p><b>（1）うつ病・躁うつ病や依存症等に係る支援の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うつ病・躁うつ病の早期発見と支援強化</li> <li>・依存症に関する正しい知識の普及と相談環境の整備</li> </ul> <p><b>（2）自殺予防対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点分野に応じた包括的な対策の推進</li> <li>・相談体制の充実と地域連携の強化</li> </ul> <p><b>（3）精神障害にも対応した地域包括ケアシステム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で生活できる支援体制の構築</li> <li>・精神科救急医療体制の維持・周知</li> <li>・災害・感染症発生時の医療体制確保</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）うつ病・躁うつ病や依存症等に係る支援の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の相談や研修・講演会を通じて精神疾患の予防に取り組むとともに、医療機関と連携し依存症など専門的支援が必要な相談や講演を実施した。</li> </ul> <p><b>（2）自殺予防対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSを活用した相談や自殺予防研修を実施し、ゲートキーパー研修を支援者・若者に加え教職員向けにも拡充した。また、自殺予防週間には保護者向け講演会を開催した。</li> </ul> <p><b>（3）精神障害にも対応した地域包括ケアシステム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会の部会を開催し、関係機関連携を進めるとともに精神障がい者の住まいの課題に向けた居住支援研修や地域精神保健福祉連絡協議会を開催した。</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）うつ病・躁うつ病や依存症等に係る支援の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向け講話20回・支援者研修18回を実施し、精神保健福祉相談は電話9,008件、来所396件、訪問33件に対応した。また、依存症講演会や学校・地域での予防啓発8回実施。</li> </ul> <p><b>（2）自殺予防対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS相談は2,650件対応したが、中高生からの相談が減少し周知方法が課題となった。保護者向け講演会は満足度90%以上と評価が高かった。</li> </ul> <p><b>（3）精神障害にも対応した地域包括ケアシステム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行支援の様式とマニュアルを作成し、今後は周知と改善を進める。居住支援研修を実施し理解促進を図り、関連研修を継続する。</li> </ul>
		<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）うつ病・躁うつ病や依存症等に係る支援の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向け講話11回、支援者研修17回を実施し、精神保健福祉相談は計6,652件（電話・来所・訪問）に対応した。依存症の講演や予防啓発を実施し、ホームページに飲酒自己チェックツールを掲載した。</li> </ul> <p><b>（2）自殺予防対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS相談は1,858件に対応し、R7年度からLINEに加えて学校配布タブレットからも相談できるようになり、相談窓口を拡充した。</li> </ul> <p><b>（3）精神障害にも対応した地域包括ケアシステム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会の全体部会・区部会を開催し、関係機関連携を進めたほか、精神科医療機関との意見交換を通じて地域移行支援やピアサポートの利用促進を図った。マニュアル活用状況について関係機関へアンケートを実施した。</li> </ul>	<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）うつ病・躁うつ病や依存症等に係る支援の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談体制を強化し、研修や講演会を通して予防対策に継続して取り組む。</li> </ul> <p><b>（2）自殺予防対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談体制を強化し、ゲートキーパー養成や講演会の開催を通じて普及啓発と予防対策に継続して取り組む。</li> </ul> <p><b>（3）精神障害にも対応した地域包括ケアシステム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科病院との意見交換によりピアサポート活用の具体的課題を把握し、地域移行支援マニュアルの活用状況や改善点を確認した。次年度はアンケート結果を踏まえ改訂を進める。</li> </ul>
			<p><b>【R8年度取組案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携しながら、各項目の取組を継続する。</li> </ul>

第8次熊本県保健医療計画/第8次熊本・上益城地域保健医療計画（共通項目）成果等一覧表

【令和7年度】

〈熊本地域〉			
項目	取組の方向性	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 項目に関する取組内容	＜令和7年度（令和6年度含む）＞ 成果及び課題、次年度以降の取組（案）
13 健康危機管理 に対する体制（地域 計画P49～52）	<p>◎新型コロナウイルス感染症への対応検証等を踏まえて、平時からの体制整備や研修・訓練等を通じた人材育成、関係機関との連携等による健康危機管理体制の強化を図る。</p> <p><b>（1）健康危機管理体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対応に向けた計画策定と体制整備</li> <li>・保健所における統括機能の強化と人員体制の整備</li> <li>・健康危機対応に必要な専門人材の育成</li> </ul> <p><b>（2）関係機関等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平時からの連携強化による危機対応の向上</li> <li>・関係会議等を通じた体制整備と情報共有の充実</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）健康危機管理体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防計画と健康危機対処計画に基づき、健康危機管理課の新設や組織再編、職員研修、IHEAT講習受講、外部講師による研修、検体搬送訓練などを実施し、健康危機対応力の強化を図った。</li> </ul> <p><b>（2）関係機関等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康危機管理連絡会議を開催し、関係機関との情報共有と連絡体制を強化した。また、保健所職員が医療機関の感染症カンファレンスや訓練に参加し、医療機関との連携を深めた。</li> </ul>	<p><b>【R6年度】</b></p> <p><b>（1）健康危機管理体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな感染症危機に備え、健康危機管理や対応力向上のための研修・訓練を実施。IHEAT要員名簿の管理や新規要員確保、研修の継続により人材確保を図る必要がある。</li> </ul> <p><b>（2）関係機関等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康危機に備え、対応力向上のための研修・訓練を実施し、次年度以降も継続して人材育成に取り組む必要がある。 （実績：10医療機関に計40回）</li> </ul>
		<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）健康危機管理体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康危機担当保健師や市内医療専門職への研修、IHEAT専門講習受講、検体搬送研修や訓練の実施により、感染症対応に必要な知識・技能の向上を図る。</li> </ul> <p><b>（2）関係機関等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康危機管理連絡会議による情報共有や保健所職員の感染症カンファレンス参加を通じて、医療機関との連携を強化した。</li> </ul>	<p><b>【R7年度】（R7.11.30時点で記載）</b></p> <p><b>（1）健康危機管理体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症危機に迅速・的確に対応できるよう、研修や訓練を通じて人材育成を進めるとともに、IHEAT要員の研修も継続実施し、体制強化を図る。</li> </ul> <p><b>（2）関係機関等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康危機管理連絡会議を継続開催し、関係機関との情報共有と連携体制の強化を図る。</li> </ul>
		<p><b>【R8年度取組案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携しながら、各項目の取組を継続する。</li> </ul>	